

2019年1-3月期GDP速報（1次速報値）

～ ポイント解説 ～

令和元年5月20日

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

[1] GDP成長率

2019年1-3月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、1次速報値において、実質は0.5%（年率2.1%）と2四半期連続のプラス成長となった。名目は0.8%（年率3.3%）となった。

[2] GDPの内外需別の寄与度

実質GDP成長率（季節調整済前期比）に対する内外需別の寄与度を見ると、国内需要（内需）は0.1%、財貨・サービスの純輸出（外需）は0.4%とともにプラスに寄与した。内需のプラス寄与は2四半期連続、外需のプラス寄与は4四半期ぶりとなった。

[3] 需要項目別の動向¹

（1）民間需要の動向

民間最終消費支出については、実質▲0.1%と2四半期ぶりの減少となった。自動車や衣服等が減少に寄与したとみられる。

民間住宅については、実質1.1%増と3四半期連続の増加となった。新設住宅着工戸数をみると、2018年10-12月期に増加の後、2019年1-3月期は減少となっている。

民間企業設備については、実質▲0.3%と2四半期ぶりの減少となった。供給側推計の基礎となる総固定資本形成の動きを見ると、生産用機械等への支出が減少に寄与したとみられる。

民間在庫変動のGDP寄与度については、実質0.1%となった。実質の在庫残高の増加幅が2018年10-12月期から拡大（2018年10-12月期1.8兆円、2019年1-3月期2.5兆円）し、2018年10-12月期と比べた増加幅の拡大分（0.7兆

¹ 季節調整済前期比について解説。

円) がGDP成長率に対して寄与した²。製品在庫等がプラスに寄与した。

(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出については、実質▲0.2%と7四半期ぶりの減少となった。公的固定資本形成については、実質1.5%増と5四半期ぶりの増加となった。公的在庫変動のGDP寄与度は、実質0.0%と横ばいであった。

(3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出については、実質▲2.4%と2四半期ぶりの減少となった。生産用機械等が減少に寄与したとみられる。

財貨・サービスの輸入については、実質▲4.6%と2四半期ぶりの減少となった。原油・天然ガス等が減少に寄与したとみられる。

[4] デフレーターの動向

GDPデフレーターについては、季節調整済前期比で0.3%となった。国内需要デフレーターは前期比▲0.1%となった。外需デフレーターはプラスに寄与した。

GDPデフレーターの前年同期比については、0.2%となった。

[5] 2018年度のGDP

2018年度の実質GDP成長率は、前年度比0.6%と4年連続のプラス成長となった。民間企業設備(寄与度0.5%)や民間最終消費支出(寄与度0.2%)がプラスに寄与したことなどから、内需が0.7%とプラス寄与となった。他方、外需は▲0.1%とマイナス寄与となった。

名目GDP成長率については、前年度比0.5%と7年連続のプラス成長となった。民間企業設備や民間最終消費支出がプラスに寄与したことなどから、内需が1.2%とプラス寄与となった。他方、外需は▲0.7%とマイナス寄与となった。

GDPデフレーターについては、前年度比▲0.2%と2年ぶりの前年度比下落となった。

² 実額はいずれも実質季節調整値(年率表示)。

[参考]

[1] GNI（国民総所得）の動向

2019年1-3月期の実質GNI成長率は、季節調整済前期比で0.7%（年率3.0%）と2四半期連続のプラスとなった³。海外からの実質純所得（寄与度▲0.1%）がマイナス寄与となった一方、交易利得（寄与度0.4%）がプラス寄与となった。名目GNI成長率については、季節調整済前期比で0.6%（年率2.5%）と2四半期連続のプラスとなった⁴。

2018年度の実質GNI成長率は、前年度比0.1%となった。海外からの実質純所得（寄与度0.1%）はプラス寄与となった一方、交易利得（寄与度▲0.6%）はマイナス寄与となった。名目GNI成長率は、前年度比0.6%となった。海外からの純所得（寄与度0.1%）はプラス寄与となった。

[2] 雇用者報酬の動向

2019年1-3月期の名目雇用者報酬は、前年同期比で1.1%増、季節調整済前期比で▲0.1%となった。前年同期比については、雇用者数が増加に寄与したとみられる。実質雇用者報酬については、前年同期比では0.8%増、季節調整済前期比では0.1%増となった⁵。

2018年度としては、名目雇用者報酬は前年度比2.7%増と6年連続の増加となった。実質雇用者報酬は前年度比2.1%増と4年連続の増加となった。

（以上）

³ 実質GNI＝実質GDP＋海外からの実質純所得＋交易利得

⁴ 名目GNI＝名目GDP＋海外からの純所得

⁵ 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃及びFISIM）デフレーターで除して算出した参考値。